

県央・林業部トピックス（8月号）

林業学習実施中!(県立矢上高等学校)

島根県では、年間80人以上の新規林業就業者の確保を目標に、高校での林業教育を支援しています。

令和5年8月22日(火)、県立矢上高等学校産業技術科の2年生34名が林業学習講座を受講しました。

午前は、利用間伐の伐採現場において、チェーンソーでの丸太切りを行ったり、フォワーダとプロセッサの操作体験を行いました。チェーンソーの操作説明を聞いているときは、少し躊躇している学生もいましたが、実際にチェーンソーを持って操作してみると、上手に丸太を切っていました。また、高性能林業機械は、どの学生も興味深々で操縦席に乗り込み、緊張しながらも真剣に操作をしていました。

午後は、島根県森林組合連合会江の川木材共販市場に移動して、出荷された木材の樹種やせりの方法等について学習しました。土場の見学では、はい積みしてある木材の末口を計測したり、木の硬さの違いなどを体験しました。

これからも引き続き、林業学習について支援していきたいと思います。林業講座や実習を通して、農林大学校等への進学や林業事業体への就職につながり、将来、島根の林業の担い手として活躍されることを大いに期待しています。



チェーンソー体験



プロセッサの操作体験



フォワーダの操作体験



木材市場での学習